

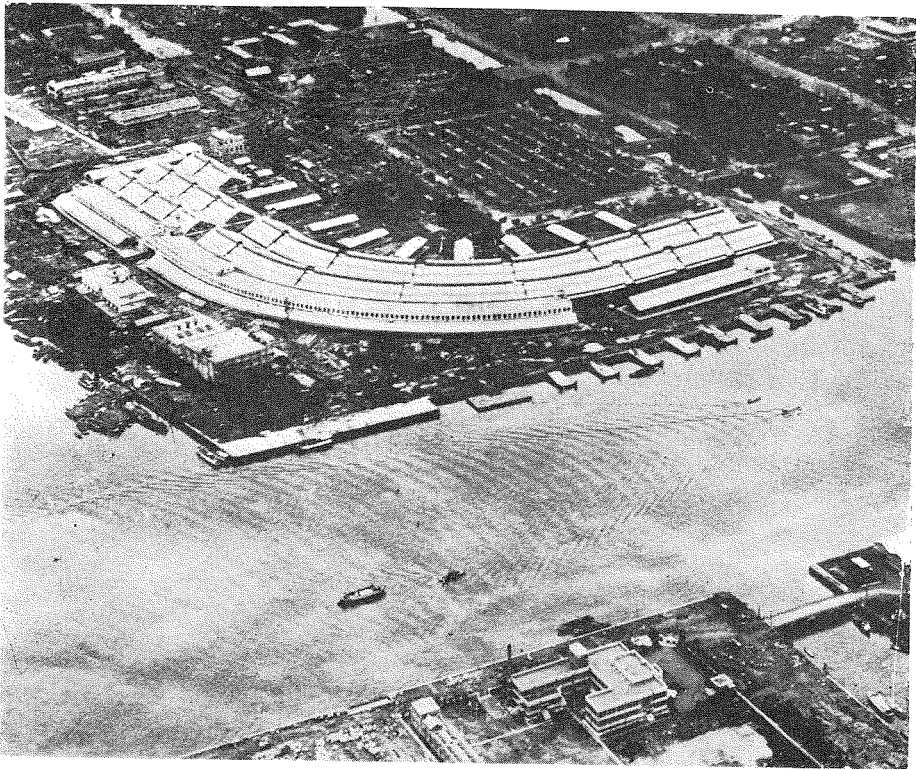
東京市營建築展望

東京市建築課長 小野 二郎

大正十二年の關東大震災火災による帝都復興事業は、東京市の市營建築の上に量に於てばかりでなく、質に於ても革命的の向上を齎したもので、その既定計畫による諸建築は今日殆んど完了を告げ、それぞれ帝都成備の一部を爲してゐるが、更に、東京市は昭和七年十月、市域擴張を行つて、人口五百萬の大都

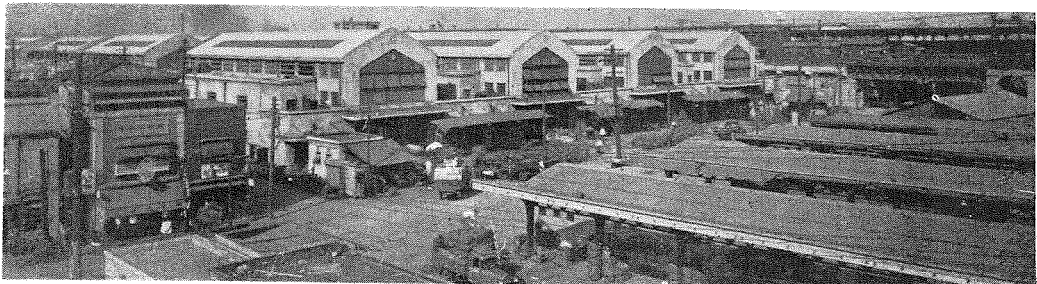
市となつたので、新市域に對する公營的諸施設を、今後に俟つものが多くなり、之等に伴ふ各種の建築計畫を着々進めつゝある。

大正十三年後、今日に至る九ヶ年間に、東京市建築課（大正十三年より昭和二年までは建築局）に於て施行した建築の總量は、工事費に於て 92,075,000 圓に上り、今後に於て施



(1) 東京市中央卸賣市場築地本場（工事中・讀賣新聞社撮影）

(2) 東京市中央卸賣市場神田分場。



行すべき既定の繼續費總豫算は 23,422,000 圓を算してゐる。

既往九ヶ年間に竣工したる建築の主なるものを、更に類別してみると次の如くなる。

教育關係

小學校	131校	51,794,098圓
圖書館	15箇所	821,072圓
中等學校	4校	3,600,000圓

社會事業關係

宿泊所	14箇所	979,967圓
職業紹介所	16ヶ	380,884圓
質屋	19ヶ	224,095圓

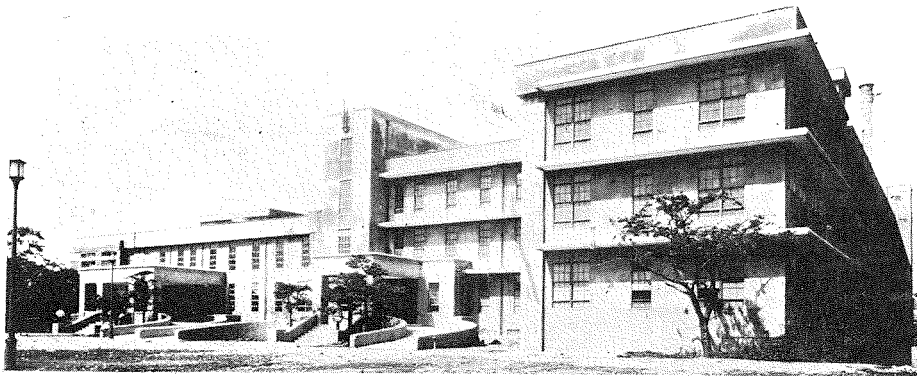
住宅及アパート	6ヶ	1,271,306圓
市民館	16ヶ	878,115圓
食堂	10ヶ	317,487圓
授産場	6ヶ	292,820圓

保健事業關係

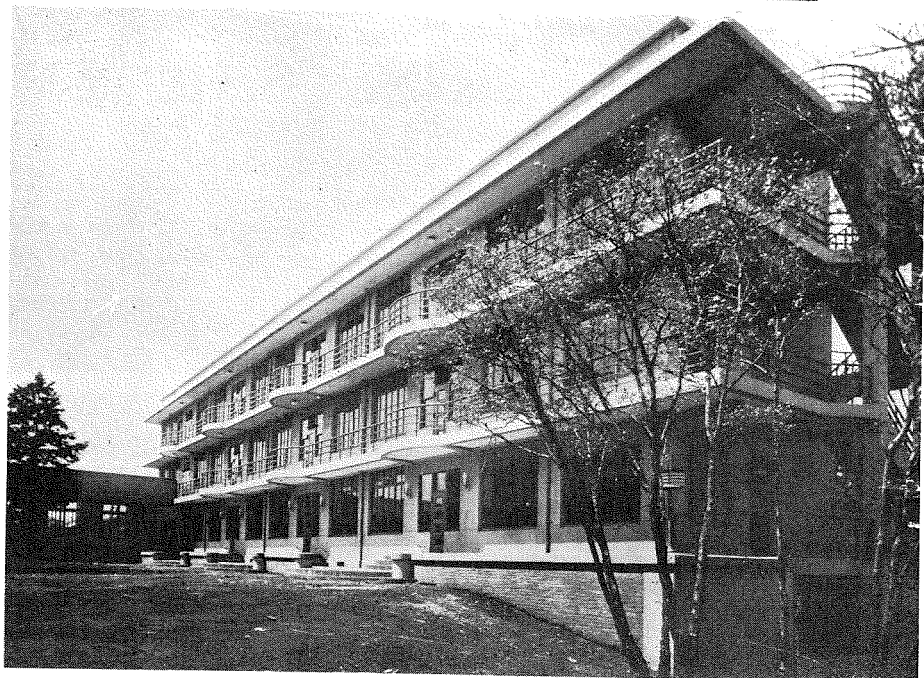
病院	7箇所	5,011,000圓
療養所	1ヶ	1,487,000圓
消毒所	1ヶ	450,000圓
塵芥處理工場	3ヶ	1,163,000圓
塵芥取扱所	25ヶ	400,000圓

産業關係

卸賣市場	3箇所	8,200,000圓
------	-----	------------



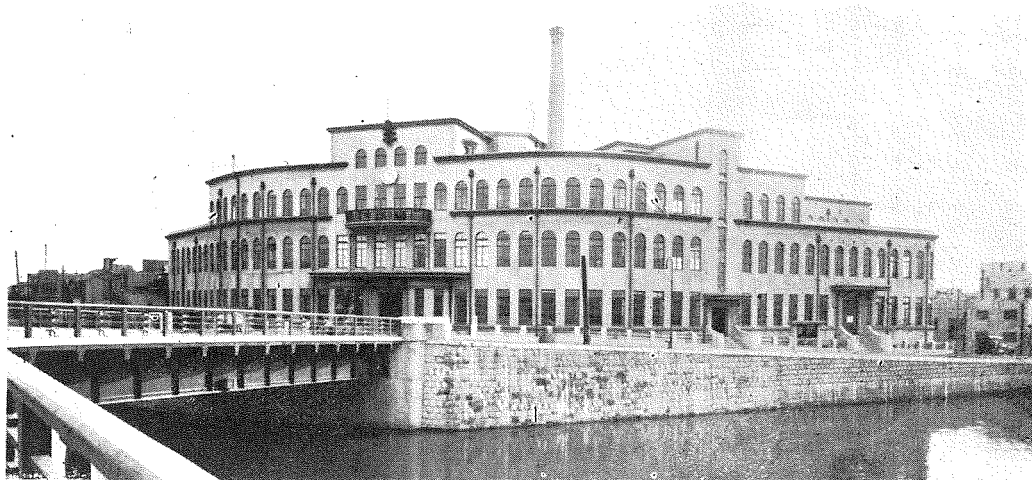
(3) 東京市立駒込病院。



(4) 東京市療養所病室の一部。

小賣市場	7 "	282,000圓
區役所		
區役所	12箇所	5,082,000圓
以上の他、公園便所、休憩所、産院、浴場 幼少年保護所等がある。		
更に今後に於て施行すべき既定計畫の主なる 建築を類別すれば、次の通りである。		
小學校(不燃質構造)	14校	5,622,564圓
" (木 造)	12校	
區役所	10ヶ所	2,656,000圓
市廳舎	1 "	7,510,000圓
卸賣市場分場	4 "	2,049,000圓

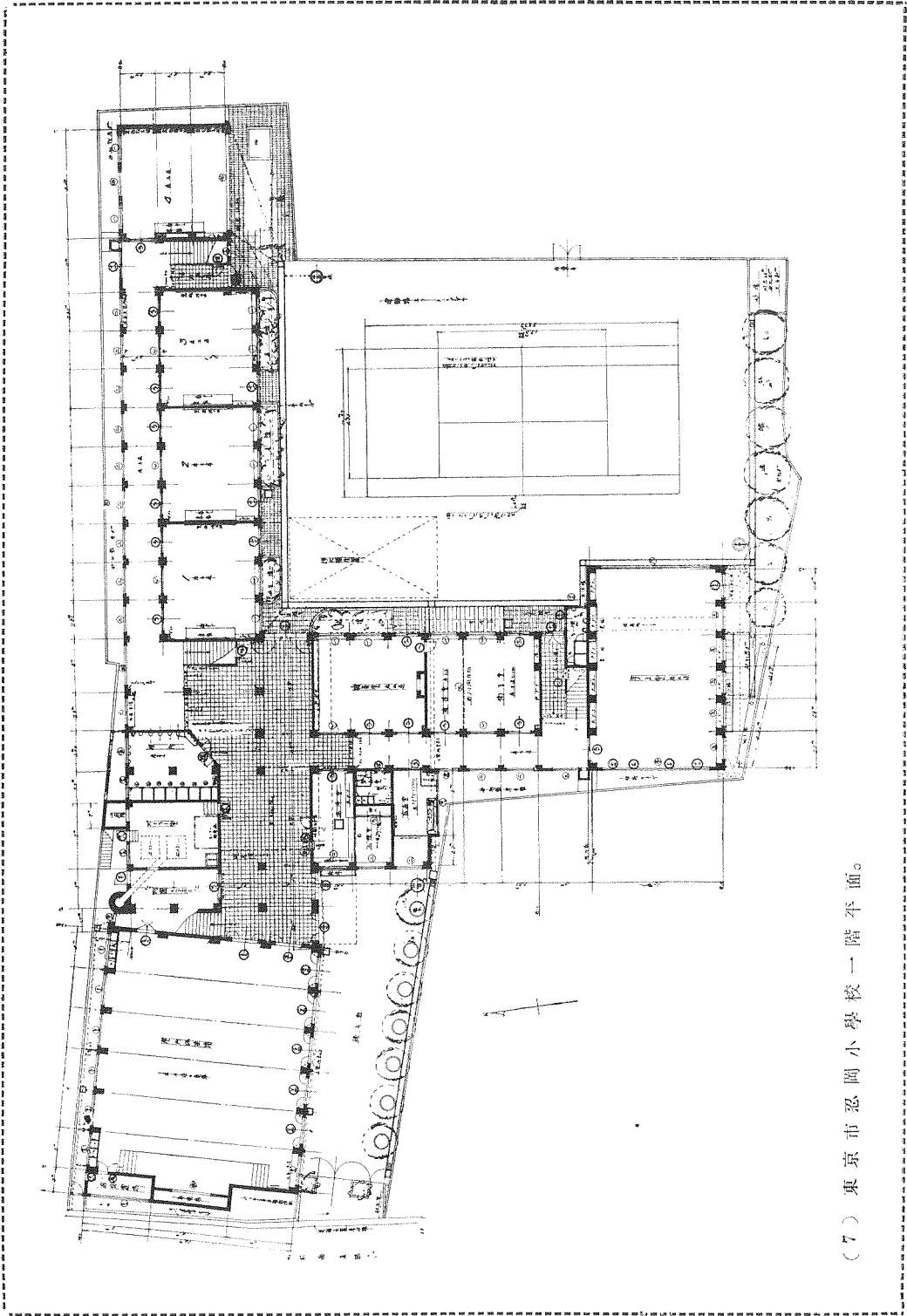
小賣市場 2 " 55,875圓
屠場及家畜市場 1 " 1,349,000圓
之等の建築を營むに當つて、東京市に於ては常に與へられた豫算を以て、許され得る最大量を造らなければならない。従つて常に最低工費のものが望まれる處の建築である。この目的の爲には、設計及施工の上に、多くの考案が拂はれる。又同種類の建築實施に當つては、標準規格を作つてそれを合目的ならしめる場合がある。小學校建築の如きはその一例で新市域に建築さるべき木造小學校の規格が最近出來上つた。



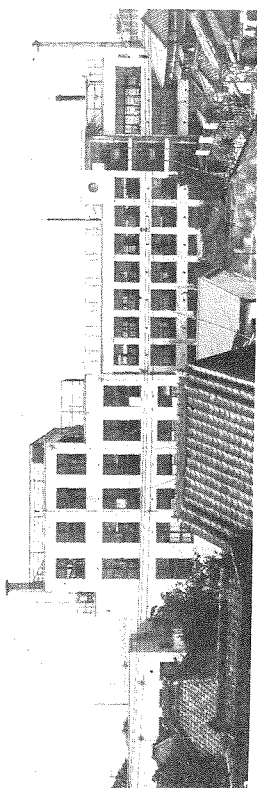
(5) 東京市京橋區役所及圖書館。



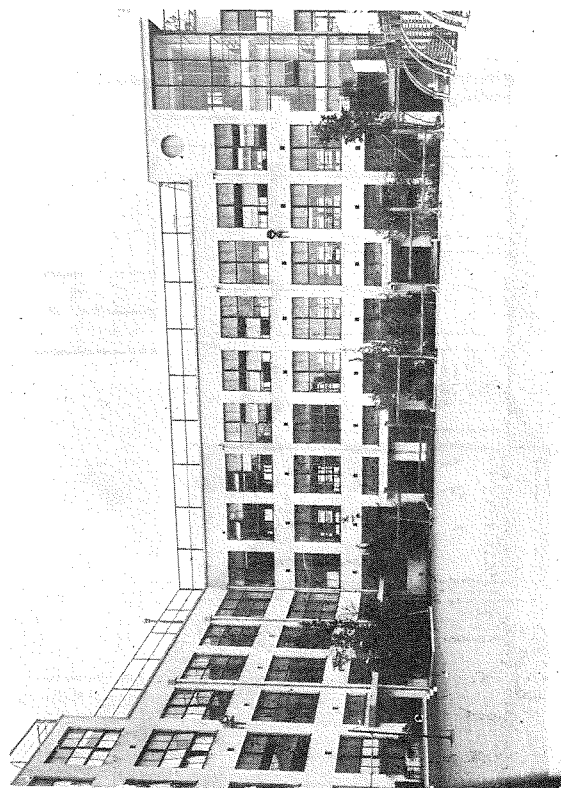
(6) 東京市四谷區役所(工事中)



(7) 東京市忍岡小學校一階平面。

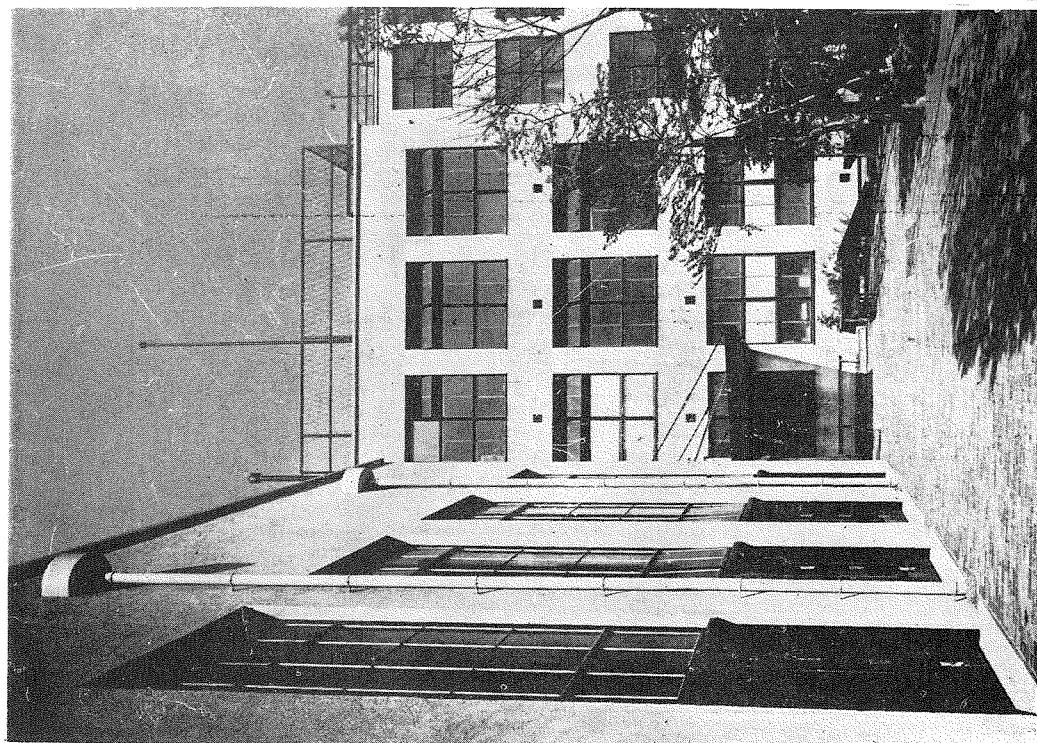


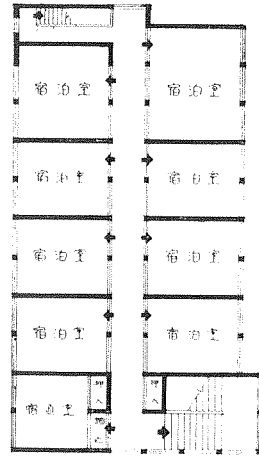
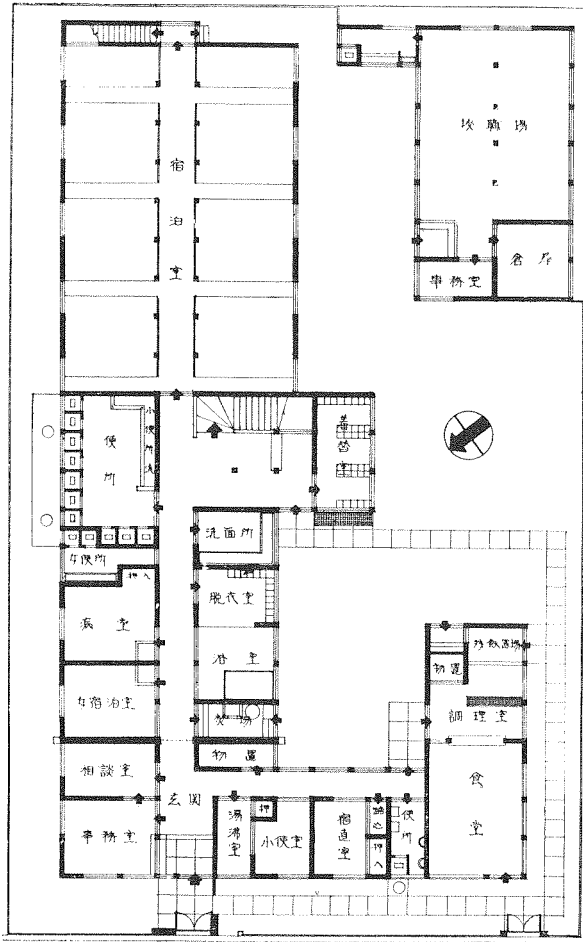
(8) 忍岡小學校全景。



(10) 忍岡小學校々庭。

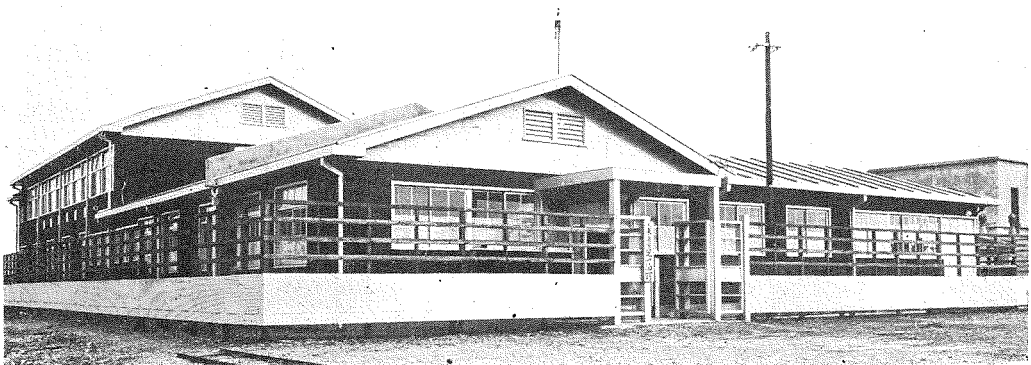
(9) 忍岡小學校正門。

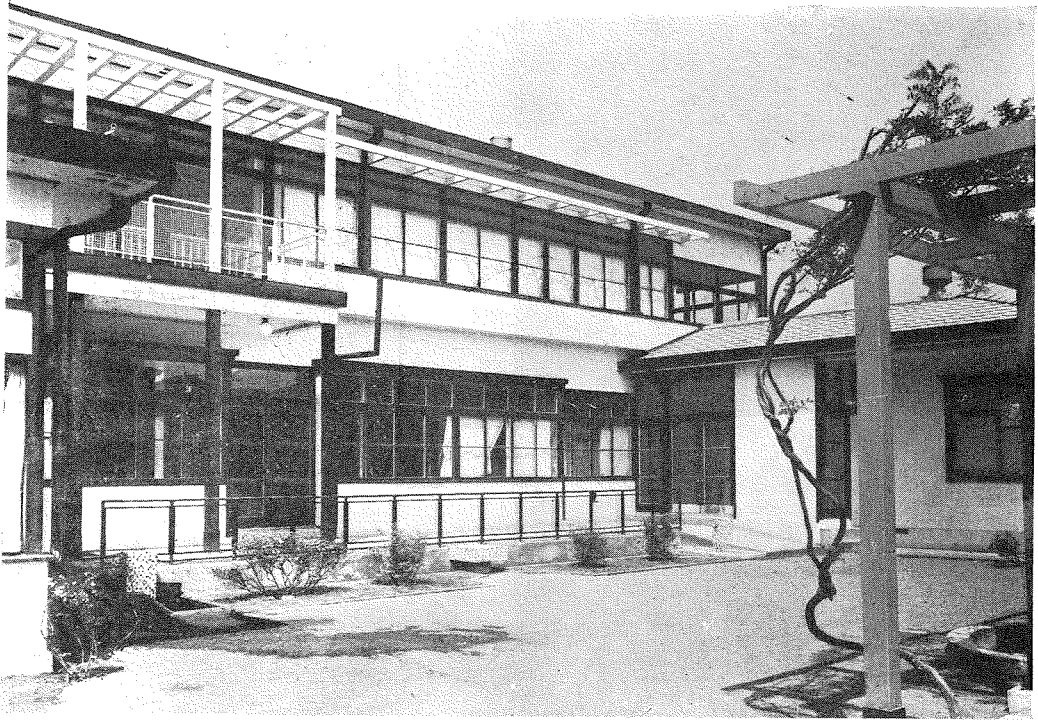




(12) 東京市芝一泊所平面。

(11) 東京市芝一泊所。





(13) 東京市四谷市民館。

